

加西ふるさとミーティング 2017 夏 質問等一覧

市内 10 小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、「市民が求める病院、地域に必要な医療とは」と題し、自治会運営を担われている皆さまを中心に参加していただきました。会場でお聞きした提案や意見をお知らせします。

今後の病院運営に可能な限り反映させてまいります。

校区名	開催日時・場所		参加者数
富田小学校区	7月20日(木) 19:30~21:00 富田会館		45名
タウンミーティングでのご意見			
No	意見概要	回答	
1	加西病院の全てを良くしようとするのは難しいので特徴をいかしてはどうか。	加西病院の特徴は循環器内科です。胸痛は、24時間365日対応しているので信頼をしてもらいたい。 もう一つは、今後の地域包括ケアシステムの流れを構築するうえで、急性期（発病から間もない時期）・回復期（急性期の後数カ月）、さらに訪問看護ステーションの在宅復帰につながる機能を持っているのは、近隣病院では当院だけです。	
2	医師を集めるのは、先生のネットワークと後輩指導にも力を入れることが必要では。	後輩の育成の点では、加西病院は規模の割に研修医が多いことで有名です。前任の山邊医師の功績が大きく、外科については大学にアピールして現状維持している状態です。	
3	人間ドック料金の補助を充実させてほしい。	人間ドックの補助は病院だけではできませんが、オプションとして腫瘍マーカー、アミノインデックスをつくり、予防することで医療費削減に繋がる点から充実させています。	

		人間ドックの補助は、国民健康保険なら7割の補助を行っています。他の自治体より充実した補助を行っています。医療保険毎に補助は異なりますが、脳ドックを作り、脳ドックの補助もを行っています。ドックはすべて7割の補助制度としています。医療保険はそれぞれの枠組みがあるため、すべての市民が同じということはありません。
4	急性期対応、地域包括ケア病棟、見取りのできる医療体制、また、病気の経験から市立病院は必要であると感じている。診療を受けたときに研修医にも診てもらったことがあり、医師の育成も確実に進んでおられると感じた。本日の説明により、安心して診療を受けることが分かったので、頑張って病院経営を行ってほしい。	急性期が終わった後のケア、レスパイト（休息入院）等、回復期の病床を充実させていますので、ご利用いただき加西病院を盛り上げていただきたい。
5	地域医療フォーラムは地域医療全般で、テーマが大きく、内容が分かり辛い点があるが、本日の説明では、病院の実情、現状、これからの方向性等の内容がよく分かった。このような説明会を多く開催して、市民の理解を求めていただきたい。病院の経営が悪い、医師が辞めていく等、悪い噂を聞いていたが、本日の説明会で噂の理由、内容が理解できた。安全な医療があつて、安心な暮らしができるため、加西病院には頑張っていただきたい。病院に要望することもたくさんあるが、市民も病院の価値を認識したうえで応援しなければならない。周辺で大きな規模	普通のことでも、ちょっとした手術のことを紹介したことが、いいイメージとなると分かってきました。これからは状況等のアピールを行っていきたい。

	<p>の病院ができ、加西病院の立場が苦しくなると思うが、市民が支持しなければならず、身近で頼りになる価値のある病院と理解し、応援をしなければならない。生田副院長の説明もあったように、手術内容、経営状況、医師の状態等について、市民の理解が得られるように広報を行っていただきたい。医師には頑張ってもらいたい。</p>	
6	<p>よく聞くことであるが、診察までの待ち時間が長い。予約診であっても、予約時間より2時間も遅れる場合がある。私自身もその経験をしたことがある。西脇病院ではそのようなことはない。一人の医師に患者が集中していることが原因ではないか。患者をこの医師ではダメという人、どの医師でもOKという人に分けて診察する方法をとるなど、工夫することも必要ではないか。悪い噂は広まるもので、ますます患者数が減少するのではないか。待ち時間を少なくし、効率よく診察することも大切ではないか。市民病院はなくてはならないものだと思っている。</p>	<p>外来の糖尿病外来は主治医が一人だけであり、ある面、仕方がないところ。後輩を育てていくこと等改善する必要は感じています。糖尿病である程度、回復されれば、開業医さんでの診察をお願いしています。糖尿病で主治医を選ばない患者さんについては、他の医師での診察を勧め、分散を行っています。</p> <p>全体では、外来の待ち時間調査、満足度調査を行っていますが、糖尿病外来を除いて、待ち時間は減少傾向となっています。予約診察においては、1時間以内に診察ができています。待ち時間が長い方には一旦、帰宅していただく声掛け、病院内でのチョイ耳講座の開設などを実施しています。これからも待ち時間を苦痛なく過ごせるようなことを検討していきます。</p>